

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課	連絡先	03-3591-2506
所管する業務の概要	防災・災害復旧対策、漁港海岸の保全・整備、漁業構造改善施設の整備、漁村生活環境の改善、漁村活性化に向けた取組への支援		

1. 基本的な心構え・行動			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 一般の方への業務に関する説明には、可能な限り専門的用語の使用を避けて一般的な表現での説明を心がけている。		・ 国民の意見、要請、苦情等に適切に対応できるよう、担当業務の関連施策や農林水産省の主な施策についても、概要が説明できるよう準備しておく。	
・ 外部から頂いた意見や苦情等について、早急に要旨を文書化して回付するなど、情報の共有化を図っている。		・ 国民から寄せられる意見等に対しては、意見の内容、その背景、対応状況に加え、フォローアップ状況も記録し、職場内で共有することが必要である。	
・ 災害対応の基本は、災害が発生した際に、いかに迅速かつ適切に対応できるかであると考えており、災害発生時には、早急な職員の派遣等を行っている。		・ 漁港の災害復旧については、漁業活動、地域住民の生命財産の保全、さらに消費者への水産物の安定的な供給を図るため、迅速かつ適切な対応を引き続き目指す。	

2. 政策・事業等の企画立案・推進			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 補助金及び交付金事業の実施にかかるヒアリング等を行う際には、地元からの要望、意見を取り入れているかという点に着目している。		・ 特に、事業実施上の地元調整等が困難な事業については、予算や施工について事業主体も含めて十分議論を行うよう努める。	
・ 交付金事業の内容をまとめたパンフレットのホームページへの掲載やメールマガジンの配信等により、積極的な情報提供を行っている。		・ 既存資料を掲載するだけでなく、主だった事項については、国民向けに分かりやすく説明又は解説した資料を作成するなど、国民の理解が得られるよう努める。	
3. リスク管理			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 漁港災害復旧においては、災害発生時の初動対応等に関するマニュアルを詳細かつ具体的な内容へと見直しを行い、部全体に周知・協力体制を整備している。		・ 災害発生時の対応マニュアルは、他部局の取組も参考にしながら今後も時宜を見て見直しを行っていくなど、常に想定されるリスクに対処できる体制を整える。	
・ 補助金及び交付金事業の実施にあたっては、事業主体を含めた関係者間で情報の共有を図り、複数者による資料チェック等の確認に努めている。		・ 補助金及び交付金事業をはじめ、全ての業務は如何なる法令等に基づいているかを再認識し、適正かつ着実な事業実施を目指す。	
4. その他の重要な取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 円滑な業務実施と組織運営のため、上意下達ではなく、班単位を中心として意見集約や情報共有を図り、明るい雰囲気づくり、風通しの良い職場環境に努めている。		・ 水産物の安定供給と豊かで活力ある漁村づくりに資する水産行政を国民視点に立って、一人ひとりが責任と気概を持って業務に取り組んでいきたい。	